

# ナゴキネ 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)

## 疾患情報

### COPDとは

かつて慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれていた病気を含む総称です。主にタバコの煙などの有害物質を長期間吸い込むことで気管支に慢性的な炎症が起こり、肺胞が壊れることで空気の通り道が狭くなり、せき・痰・息切れなどを引き起こす進行性の呼吸器疾患です。

日本では年間約1万6千人が亡くなっており、40歳以上の約8.6%（約600万人）が罹患していると推計されていますが、実際に治療を受けている人は約20万人にとどまるとされています。



肺胞が破壊されるタイプの肺のCT写真



気管支に障害がおこるタイプの肺のCT写真

### 原因

主な原因は喫煙です。長期間にわたる喫煙は発症リスクを高めるだけでなく、病気の重症化にも関係するとされています。実際に、有病率は喫煙歴のある高齢者で高く、60代では約7人に1人、70代では約4人に1人がCOPDといわれています。

また、喫煙以外にも、大気汚染や職場での化学物質・粉じんへの曝露などの環境要因、さらには遺伝的要因（肺の形態や免疫機能に関わる体質など）も発症に関与する可能性があります。

いずれも、タバコの煙を代表とする有害物質を長期間吸入することで肺に慢性的な炎症が起こり、その結果として咳・痰・息切れなどの症状につながります。



# 検査

COPDが疑われる場合には、咳・痰・息切れを引き起こす他の病気と区別するために、胸部レントゲンや胸部CTで肺の状態を確認します。

さらに、診断に欠かせないのが呼吸機能検査です。鼻をクリップでつまみ、マウスピースをくわえて大きく息を吸ったり吐いたりすることで肺の働きを測定します。

COPDでは、一秒間に吐き出せる空気の種類(1秒量)が低下することが特徴です。



# 治療



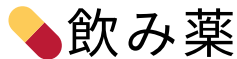
禁煙

病気の進行を防ぐ、もっとも大切な治療です。



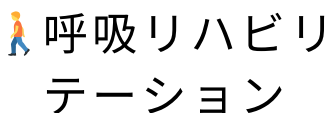
吸入薬

空気の通り道を広げ、息切れをやわらげます。



飲み薬

咳や痰の症状を軽くします。



呼吸リハビリ  
テーション

息切れを減らし、体力や日常生活の動きを保ちます。



ワクチン接種

かぜや肺炎による悪化を予防します。



在宅酸素療法

必要な方に酸素を補い、  
安心して生活できるようにします。

